

平成 18 年度 秋期 初級システムアドミニストレータ試験 解答例

午後試験

問番号		正解	備考
問 1	設問 1	オ	
	設問 2	a	カ
		b	ケ
		c	キ
		d	イ
		e	オ
	設問 3	エ	
設問 4	ア		
問 2	設問 1	a	イ
		b	ウ
		c	オ
	設問 2	d	イ
		e	キ
		f	ク
		g	ア
	設問 3	h	イ
i		オ	
問 3	設問 1	a	オ
		b	エ
		c	イ
		d	ウ
		e	エ
	設問 2	エ	
問 4	設問 1	a	ウ
		b	カ
		c	オ
	設問 2	d	イ
		e	ケ
		f	イ
		g	ア
	設問 3	カ	

問番号		正解	備考
問 5	設問 1	a	オ
		b	ウ
		c	ア
	設問 2	d	エ
		e	ウ
		f	イ
		g	イ
		h	ア
	設問 3	i	ア
		j	イ
	設問 4	k	コ
		l	イ
m		ア	
問 6	設問 1	a	ウ
		b	ク
		c	オ
		d	カ
		e	ア
	設問 2	f	ウ
		g	キ
		h	ア
		i	ケ
		j	ウ
		k	エ
	設問 3	l	ウ
		m	イ
		n	ケ
	設問 4	o	カ
問 7	設問 1	a	エ
		b	イ
		c	ア
		d	ウ
		e	エ
	設問 2	f	エ
		g	ウ
		h	ウ
		i	イ
		j	イ
		k	ウ
	設問 3	l	エ
		m	イ
設問 4	ウカ		

問 1

出題趣旨

社内の情報化をユーザの立場で推進する初級システムアドミニストレータにとって、基本的なセキュリティの知識や考え方は、必須である。

本問は、セキュリティの確保に当たって、システムの機能と運用管理とを相互補完的に用いることを主題としている。すなわち、システムの提供する機能を使って、要求されるレベルのセキュリティを実現するために、効果的な運用手順を設計することを問うている。

本問では、運用手順の設計とその改善を通じて、初級システムアドミニストレータに必要なセキュリティに関する基本的事項の理解、及びセキュリティに関する状況判断力を評価する。

問 2

出題趣旨

高度情報化社会において、業務システムを利用するために必要なネットワークの重要性はますます高まりつつあり、利用者側においても、ネットワークの運用環境と利用環境を整備するために、一定の知識や技能が求められる。

本問は、初級システムアドミニストレータが主体となって行うべきネットワーク運用管理において、IP ネットワークの基本的な知識及び仕組みについて理解し、具体的な事例にその知識を適用できることを求めている。

本問では、ネットワークの構成（IP アドレス、ネットマスク）、経路情報や経路制御の仕組みを理解し、ネットワーク障害時の原因切分けなどの基本的な事項に対応する能力を評価する。

問 3

出題趣旨

新規システムの導入に当たっては、投資採算性を明確にし、投資の可否を決定することが求められる。

本問は、機器導入及びシステム開発費に関わる投資採算評価を主題としている。すなわち、システム導入に関わる費用と効果を整理し、償却費計算を行った上で、回収期間判定値を算出し、判定するという問題を、表計算ソフトを用いて解決することを求めている。

本問では、初級システムアドミニストレータとして、与えられた投資採算評価方法を理解し、その方法を表計算ソフトを利用して実現する能力と、その結果を判断する能力を評価する。

問 4

出題趣旨

企業内で大量の情報が日常的に取り扱われている今日において、これらの情報をデータベースを利用して活用することが、初級システムアドミニストレータに求められる。

本問では、SQL 文を使ってデータベースから必要なデータを抽出する能力と、必要に応じてデータベース構造を変更する能力について評価する。

問 5

出題趣旨

ユーザ部門では、販売方針等を立案するために過去の実績データの定量的な分析を行うことがある。

本問は、化粧品の販売会社の売上実績データに対してクロス集計を行うことで、売上推移の分析、今後の見込みの予測、さらに推移の傾向を考慮した見込み精度の向上を図るといった活動を主題としている。

本問では、クロス集計された情報を読み取り、分析し、その結果を応用する能力を評価する。

問 6

出題趣旨

多くの社内情報が電子化され、ファイルサーバに蓄積されるといった環境が増えているなか、情報管理の重要性が高まっている。

本問は、ファイルサーバに蓄積されたファイルのアクセス管理を主題としている。すなわち、アクセス管理の設定ルールを理解し、アクセス要件に適したアクセス権を設定することを求めている。

本問では、初級システムアドミニストレータとして、与えられたアクセス要件に基づきアクセス権テーブルを設定する能力に加え、与えられた設定ルールでは設定不能となるアクセス要件を判定する能力を評価する。

問 7

出題趣旨

情報システムの構築において、データベース構造の設計は重要である。データベース構造を考えるには、E-R 図を作成し、業務要件に即して正規化されたデータベース構造を設計することが求められる。

本問は、初級システムアドミニストレータが担当する可能性のあるシステムを取り上げ、そのシステムでのデータベース構造を設計することを主題としている。

本問では、データベースの正規化、E-R 図の作成、業務要件に即したデータベース構造の設計に関する理解度を評価する。